

# 町並み

空の下  
海と空を  
見下ろして  
聖武天皇が  
愛した景色を



灯りつく  
出航の旗  
眺めては  
寄せる波の  
音の静けさ

不老橋  
一目見出れば  
よみがえる  
鏡の水面に  
映りし朝焼け



寄せる波  
玉ぞちりける  
蓬莱岩  
和歌の朝焼け  
岩の間ゆ見ゆ

朝日と海  
夕日と海

湯をなみ  
寄せくる白波  
夕暮れや  
波といっしょに  
思い出運ぶ

# 時の流れ



どうですか？  
**あっ**と、驚くこの景色



「みてください」  
この美しい  
双子島  
夕暮れ時の  
真つ赤な海を

湯をなみ  
引いても満ちても  
鏡あり  
海には雲の  
間を泳ぐ魚



# 伝統行事



雄々と  
神宝かつぎ  
下りたる  
熱気あふれり  
和歌祭



家康は  
東照宮に  
まつられて  
蒼い景色を  
ずっとみている

# 神社



天満宮  
きざはしのぼり  
一息し  
自分の願いを  
道真に願う

どうですか？

あっ

と、驚くこの景色

### 新・和歌の浦十景

和歌の浦に名所がござる！

一に、東照宮

二に、天満宮

三に、和歌祭

四に、干潟

五に、雑賀崎

六に、てんぐ山

七に、片男波

八に、蓬莱岩

九に、不老橋

十に、双子島

平成30年度 雑賀小学校 6年1組

## 和歌の浦の干潟

なんということでしょう！？干満で姿が違いますよ？

～生き物も育む 絶景の楽園～



和歌川河口に名所がござる 1に干潟 2に潮干狩り 3に生き物の宝庫、...

このように、和歌川の河口にはたくさん見所があります。干潟は潮の満ち引きでいつも違う表情を見せてくれ、写真のように空を映して水鏡のようになり、干潟のときは、川のところだけ夕日はね返したりします。いつ来ても違う姿を見せてくれ、時間が経つごとに姿が変わるので時の流れが感じられます。そのためとてもきれいです。

また、そこには絶滅危惧種、準絶滅危惧種などのめずらしい生き物が生息しており、生き物の宝庫といえます。そんな干潟にぜひ来てみませんか？

<干潟の撮影ポイント>

満潮の時に撮ると地上の景色がうつってインスタ映えです。

干潮の時にいくと、絶滅危惧種のハマグリや、ハクセンシオマネキが顔を出すかもしれません！

干潟沿いの遊歩道から撮影すると、干潟全体をながめられるのできれいな写真がとれます！

## てんぐ山からみた景色

聖武天皇も来た！絶景が一望てんぐ山



和歌の浦  
てんぐの山に  
出でみれば  
今も輝く  
美しい海



空の下  
海と空を  
見下ろして  
聖武天皇が  
愛した景色を

和歌浦の海や町なみが一望できるてんぐ山

てんぐ山には、玉津島神社の裏から登ります。そのてんぐ山には、聖武天皇が訪れ、その景色を見て感動したという歴史があります。聖武天皇が感動した景色は今も残っています。山に登ると中の自然の感じも最高で、木と木のすき間から見える景色も最高です。登ると風も気持ちいいです。てんぐ山には、日本初のエレベーターがあり、そこに夏目漱石が来たという歴史もあります。最初から最後まで景色を楽しめ、歴史がいっぱいあるてんぐ山にみなさんぜひ来てください。

<てんぐ山の撮影ポイント>

まず、てんぐ山に登り、そこから町並みと海が一番きれいにうつるところを撮ってもらうのがオススメです。

## 蓬莱岩

日本でもめずらしい絶景 蓬莱岩



居候  
茶を飲みはなす  
驚しいよ  
岩うつ波と  
語るよ歴史

夜もよし  
月の光に  
ゆらぐ波  
海神の島  
サギ鳴き渡る

寄せる波  
まぞちりける  
蓬莱岩  
和歌の朝焼け  
岩の間ゆ見ゆ

蓬莱岩には名所がござる

1に 光輝く波 2に 夕日 3に 不思議な岩 4に 砂浜よ

このように、蓬莱岩にはたくさん見所があります。特に、岩にぽっかりとあく大きい穴。この穴はまるで和歌山県白浜町の円月島。タイミングが良かったら蓬莱岩の穴に夕日がスッポリはいり、とてもきれいです。海を眺めながら和歌浦で買ったお菓子を食べる、岩にのぼって遊ぶなどのたくさんの楽しみ方があります。聖武天皇も見惚れたこの景色…。ぜひ来てみてはどうですか？

<蓬莱岩の撮影ポイント>

少し岩から離れて海も入るようにすると、海に光が反射してきれいな写真がとれます。波が少し激しいときは、岩に当たって散る水しぶきを撮るのもいいです。

## 雑賀崎のまちなみ

いそがしい時の海外旅行！



本物のアマルフィ



灯りつく

出航の旗

眺めては

寄せる波の

音の静けさ

山こえて

トンネル抜けたら

雑賀崎

家をツムツム

アマルフィかな

～ 雑賀崎の見所 5 (ファイブ) ～

1. イタリアのアマルフィに似ている  
直売なので、新鮮なまま食べられる！
2. 魚がおいしくてよくとれる
3. いつでも絶景が見れる  
足赤えび、太刀魚、シバエビなど雑賀崎ならではの食べ物！
4. 親子で楽しめる  
灯台からは、双子島、友ヶ島、淡路島が展望できる！
5. お手軽に楽しめる

<撮り方>

朝…日の出や出航時の旗が見れるので、日の出を背景に雑賀崎のまちなみを！漁船の灯りもきれい。

昼…第2のアマルフィとそれにセアマルフィが出没。

夜…夕暮れとアマルフィをセットに！

ぜひ撮ってみてください。

## 双子島

見なきゃ損 水面に夕日の光が輝く

Let's go 双子島



みてください

この美しい

双子島

夕暮れ時の

真っ赤な海を

双子島

しずむ夕日と

友達に

ときを忘れて

見続ける僕



双子島には、魅力がごさる。1に夕日 2に海で 3に島々、4に空よ。双子島という名の通り、うり2つの島と、夕日の輝き、知られざる名所です。夕日の場所が時間とともに移り変わり、海の色々な表情が見られます。夕日と海の表情が変わると、双子島もまるで違う島のように変わります。さらに、この双子島の近くに、灯台があるので、そこから夕方ぐらいに見るとさらに双子島がきれいに見えます。

撮り方は、雑賀崎展望台から、海ができるだけオレンジ色に染まるように、日が沈む直前でシャッターを切ってみてください。

## 不老橋

鏡のような水面にうつるただの橋じゃない不老橋



不老橋  
一目見出れば  
よみがえる  
鏡の水面に  
映りし朝焼け

和歌の浦  
朝焼け時の  
不老橋  
さかさに見ても  
景色変わらず

この橋の名は不老橋。この名のとおり、昔からこの橋を渡ると不老になると伝えられている。ぜひとも渡ってみてはいかがだろうか。橋は歴史がとてつと溢れている。例えば、雲の形をふちのところに掘っているところだ。とても細部のところまで語り継がれているのはなかなか珍しい。渡るときにその彫刻もぜひ見てほしい。また、橋の前にある看板（不老橋について書かれている説明が書かれているもの）に目を通してみても、歴史の深さを感じられる。また、朝日が昇るころには、橋と朝焼けが水面に映り、とても絶景になる。

その水面はまるで鏡のようだ。昼間には朝焼けが見られないが、青空と橋が映るのでこれもまた、1つの絶景である。このような多くの楽しみがある不老橋にぜひとも来てほしい。

<不老橋の撮影ポイント>

てんぐ山の隣の鏡山から見下ろすと、海も橋も映るのできれいにとれる！

脇の道路から撮ると、山をバックに橋が映るのでこれもまたオススメ！

## 東照宮

階段を登りきり、振り向くと、  
すごい景色や、建物の歴史が感じられる！



家康は  
東照宮に  
まつられて  
蒼い景色を  
ずっと見ている  
紅くなる  
夕暮れの中の  
東照宮  
紀州徳川  
まつられている

天満宮と東照宮は、昔ながらの歴史を感じられます。東照宮には、かの有名な徳川家康がまつられています。東照宮は家康の好きな鷹狩りを表す彫刻や虎の彫刻など普通でみられない、めずらしい彫刻があります。家康は、地位が高いので、その象徴の虎の彫刻はなかなか見られないのです。これらはとてもカラフルです。他にも、金の板に彫られた花もあります。そこから眺める景色とはとてもきれいです。400年前からずっと保たれている建物は、歴史を感じられます。

色鮮やかな鳥居の間から撮ることによって、オリジナリティが生まれます。昼の良く晴れた快晴の日は、景色がとてもきれいで、和歌浦の自然がよく見えます。ぜひ来てみませんか？

<東照宮の撮影ポイント>

階段の下からとると、楼門がうつります。また、楼門から景色を眺めるときれいです。一つ一つの彫刻を、じっくり眺めて撮るのもオススメです。

# 和歌祭

400年続く祭り！これぞ伝統！和歌祭！



雄々と  
神宝かつぎ  
下りたる  
越前あふれり  
和歌祭



おみこしが  
さざはし下る  
和歌祭  
威勢良い声  
空に響きたり

和歌祭は400年続いており、「わっしょい」と威勢のいいかけ声を出しながら神輿を担いで和歌浦周辺をまわる祭りです。特に数少ない徳川家の模様がついた神宝が魅力的で伝統が感じられます。また、模様の上には「朱雀」という飾りがあり、傾くごとにゆれているのが見所です。ゆれば、ゆれるほど、権現さん（家康）がよろこび、一年間幸福になるといわれています。体験も行っている伝統芸能は、なぎなたを頭で回すなど迫力満点です。年に1回しかない和歌祭。ぜひ来てください！

<和歌祭りの撮影ポイント>

和歌祭は、毎年5月第2週日曜日に開催しています。神輿を大勢で担ぐその迫力が大事とされています。なので、それを生かして神社の階段の下から、上に向けて撮ってください。神輿も上手に映るはずですよ。これを利用して自分なりの写真を撮ってみてください。

# 天満宮

学問の神がまつられている天満宮



また参る  
さざはしの道  
下りつつ  
本国の中  
優しく招く  
天満宮  
さざはしのぼり  
一息し  
自分の願いを  
道真に願う

階段の下からみても迫力満点で歴史がたくさん感じられる天満宮。ここには、菅原道真という江戸時代ごろに生きた学問の神様がまつられています。菅原道真という人は、大宰府に行く途中、かざなまみ（暴風雨）をさけるために、この天満宮に立ち寄ったと言われていました。天満宮にある工夫された家紋。その色の組み合わせ、その一つ一つはどこの神社も真似できません。そして、階段を登りきり、ふり返ってみると、地域の人たちが描いた景色がそこにあります。「みんなに歴史を知ってほしい」「もっと広めてほしい」という地域の思いを背負う天満宮がそこにあるので、たくさんの歴史を感じることができます。

その天満宮の鳥居からは、和歌の浦の絶景、ぜひ道真の気持ちになって立ち寄ってみてはどうですか？

<天満宮の撮影ポイント>

社殿の、特徴的な「入母屋造千鳥破風」という造りも撮ると良いです。また、楼門からみる景色も絶景です。

# 片男波からの景色

あなたを待っている！

絶景自慢の片男波におこしあれ！



鴻をなみ  
寄せくる白波  
夕暮れや  
波といっしょに  
思い出運ぶ



紀伊國の  
詩りをもてし  
岩の浦  
夕暮れ時は  
片男波かな  
片男波  
からすや人は  
みなかえる  
私はひとり  
滝を見ながら

平成30年度 雑賀小学校6年1組

岩尾 珀弥	坂下 達哉	虎井 竹琉
岩出 龍人	嶋田 明泰	中井 健
大西 羅舞	清水 荘宇	長倉 克将
小川 良広	菖蒲奥 陽生	長瀬 興紀
奥野 陽介	角谷 くらら	成瀬 心希
尾崎 快	鷹野 祥希	濱口 絵実
尾崎 心音	高松 あずみ	福田 果花
尾崎 陽太	田中 寛奈	藤田 稜人
小原 生楽	土山 愛矢	三好 莉央奈
金子 穂花	津村 汐那	村垣 妃華子
北島 由喜	豊口 樹香	

2019年3月8日

この片男波は潮が満ちたり引いたりして時間の流れが感じられます。しかも夏には、海水浴ができます。特に、夕暮れ時には夕日が海に輝くため。風景全体が赤く染まりとてもきれいです。隣には、歴史を学べる万葉館もあり海を眺めながら和歌浦で買ったお菓子を食べてもおいしいです！片男波にぜひ来てください。

<片男波の撮影ポイント>

実際に片男波に行ってみて、砂浜から写真を撮るときれいです。特に夕方は夕日が海を照らすためおすすめです。片男波の防潮堤から撮ると、片男波全体がうつってきれいです。